

2025 年度 事業計画書

活動の基盤となる基本方針は、定款第 3 条（目的）に掲げた「真空産業及び関連産業の健全な発展を図り、国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」である。

また、今年度は創立 40 周年を迎える節目の年である。新しい未来に向けてより一層「JVIA の存在感アップ」を目指し、「アクションプラン 2027」を策定し SDGs を意識した新たな活動を具現化し積極的に取り組んでいく。

1. 生産、流通および保全等の調査研究

安全保障貿易関連情報および会員企業の取り組み情報を収集し、迅速な対応に努める。真空機器の受注・売上統計データの正確性・信頼性向上を図るため JVIA 統計事業への参加を呼びかけ、併せて海外の真空関連諸団体との協力関係の構築・強化を図る。

- ・国際統計 ISVT ミーティング 2025（ドイツ）に 2 名派遣し、国際統計のシステム改善、統計の価値向上を図る。
- ・短期需要予測、セグメント・地域別の需要予測を行い、ISVT と情報共有する。
- ・経済産業省と連携を強化し安全保障貿易管理教育を徹底する。

2. 技術開発に係わる調査研究

真空産業/真空技術が世の中で果たす役割を示すテーマを選定した調査研究を行う。また、真空産業分野の新規事業開拓や異種産業分野における真空関連技術分野の適用の可能性調査を行い、会員企業への情報提供に努める。

- ・真空展では、（公社）日本表面真空学会の産学連携・会員増強委員会と合同で、真空フォーラム・シンポジウムを開催する。
- ・関西支部では、新技術・新たな産業分野に関わる内容を総会等の講演会のテーマに選定する。

3. 規格の立案および標準化の推進

真空に関連した規格のニーズを調査して、必要があればその草案を提案する。

また、（公社）日本表面真空学会をはじめ国内関連諸団体と協力して真空関連規格の整備を推進すると共に、海外の真空関連諸団体との協力関係の構築強化を図る。

- ・（公社）日本表面真空学会と協力し、ISO/TC112（Vacuum Technology）の審議状況をプロジェクトごとに、「規格標準合同検討委員会」を通じて共有し、賛成・反対意見、コメントを ISO/TC112 に回答する。
- ・ ISO/TC112 総会（開催国未定）に JVIA より代表 1 名を派遣する。（2024 年度は中国開催予定だったが中止となった）
- ・ 真空技術に係る ISO/JIS 規格の整備事業を推進し、新規規格の情報を会員に発信する。
- ・ 真空展において「規格標準報告会」開催し、規格の動向、問題点、技術解説を実施する。

4. 環境および安全に係わる調査研究

SDGs を意識した環境保全等の活動を通して、会員企業による環境に配慮した開発、製造、販売を推進する。また、JVIA ホームページ・真空ジャーナルによる環境保全関連の資料公開等により会員企業の環境活動のサポートを行う。

- ・ 環境活動アンケートを実施し、環境活動報告書 2025 を発行する。
- ・ 「真空ウォーキングコース」の実習教育を通して、真空機器の取り扱い方法、作業時の安全教育等製品安全教育を実施する。
- ・ 真空展における「環境トピックス」や「安全教育講座」、「環境教育講座」（SEAJ と JVIA の合同企画）、「安全教育講座」（関西）、「JVIA セミナー」等を通じて会員企業への啓発を行う。
- ・ 過去に発生した事故事例や不具合改善事例等の資料提供を行う。

5. 真空産業に関する普及および啓発

真空展は中長期の視野に立った運営企画を企画し、出展社数・来場者数の増加を目指して他団体との同時開催とする。昨年度立ち上げた「V 作戦」（真空展を活況にするためのプロジェクト）の活動を具現化し、主催者ゾーンへの新業種の誘致等新企画を展開する。創立 40 周年記念年としてさらに魅力ある主催者ゾーンおよび基調講演を企画し、また（公社）日本表面真空学会と合同で真空フォーラム・シンポジウムを開催し、会員各社へビジネス展開に有益な情報を発信する。また、JVIA ホームページ、真空ジャーナル、JVIA メールニュース、新聞広告などを通じて JVIA 主催の各種イベントの啓発活動を行い、存在感のアップを図る。

- ・ VACUUM2025 真空展（12 月 3 日～12 月 5 日、東京ビックサイト）を開催する。
- ・ 第 30 回「真空ウォーキングコース」（8 月 25 日～8 月 29 日、実習で体験する真空基礎

講習会）は、昨年同様定員 160 名で開催し、真空技術基礎教育の充実を図る。

- ・ 3 年目となる「演習講座・真空排気系計算コース 実践編」（4 月 14 日）は、内容をブラッシュアップし改善を図り、「真空ウォーキングコース」の次の講座としての成長を目指す。
- ・ 真空展において「はじめて真空」「真空入門講座」を開催し、真空技術の啓発と普及を図る。
- ・ 昨年度新設した「JVIA セミナー」をさらに充実させ、会員企業のニーズに則した教育や啓蒙活動を推進する。

6. 内外関係機関等との交流および協力

国内関連諸団体と、情報交換会やセミナー等の協力共同事業を通じた交流を行う。特に（公社）日本表面真空学会とはさらなる交流を強化し、産学連携の協力体制を構築し真空技術の普及に貢献する。また、国際規格整備や売上統計事業などにおける韓国、中国、台湾、欧州の真空団体との交流を通して、JVIA のグローバル活動を推進する。

- ・ 経済産業省との情報交換を密に行い、関係する通達や情報は「JVIA 通信」等を通じて遅滞なく会員に周知し、政策提案やアンケートへの協力等について積極的な活動に取り組む。
- ・ 会員に有益な情報は「JVIA ホームページ」「JVIA 通信」「JVIA ニュース」を通じて会員へ展開を図る。
- ・ 「中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書」の発行認定団体として引き続き活動する。

7. JVIA の目的を達成するための必要な事業

理事・監事および会員各位の協力を得て、JVIA 会員の増加に努める。関西地区および関東地区の若手交流会や会員の相互交流に役立つ健全な活動を支援する。JVIA ホームページが即時に情報発信できる機能を利用し、効果的な JVIA の広報活動を行う。

- ・ 創立 40 周年記念事業（真空ポケットブック発行、創立 40 周年記念誌発行、創立 40 周年記念講演会・祝賀会開催）を実施する。
- ・ 会員勧誘活動の体制強化を図り、将来に向けて持続可能な工業会を目指す。
- ・ 創立 40 周年記念祝賀会、ビジネスマッチング、東西若手交流会、賀詞交歓会、会員連絡者会議、国内外の企業見学会等を開催し、産学連携を活性化させて潜在ビジネス

の掘り起こしを行う。

- ・JVIA 活動の活性化のための適正な予算を定め、進捗・遵守状況を定期的に確認する。
- ・優れた（価値ある）技術、技能を発掘し、真空技術の発展・普及に貢献した企業・団体・個人を表彰する。
- ・各種補助金事業取得支援講習会（サポイン等）開催情報等の迅速な提供を行う。
- ・JVIA の規程類を整備し、実態と時代に即した分かりやすい体系・内容に刷新する。
- ・「JVIA セミナー」のテーマや内容充実等、JVIA 事務所会議室を有効活用し JVIA 活動の拡大を図る。

以 上